

技術フォーラム ニュース

講演会 :

社寺建築のビフォー・アフター

日時：令和3年8月28日(土) 10:00~11:50

場所：港区立新橋生涯学習センター

講師： 沖野寛幸様(沖野工務店：新潟県燕市)

主宰者挨拶：原田理事長



本日の勉強会、COVID19対策をしっかりとした上で伝統建築の勉強会を開催します。講師沖野様は新潟県燕市で社寺建築を中心にお仕事をされています。地元の学校卒業後、福島県の大和田工務店で修行後、父親が経営する沖野工務店に就職、現在に至っています。

新潟県は江戸時代、人口が最大の地域でした。佐渡金山や流通の拠点であり、そうした事情から社寺、伝統建築が多く存在しました。神社は4000軒あり、日本で最大のようにです。そうした環境の中、新潟で社寺建築の修復のお仕事をされています。最近では令和の代替わりの際の大嘗宮の造営の70人の宮大工の一人として参加されました。

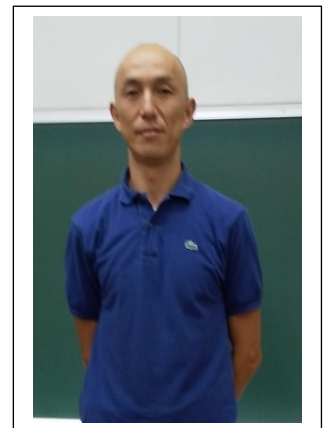
沖野様：大工と言う職業上、人前で話すことは不慣れで、自分の仕事の画像を多く見ていただき、若干の説明をさせていただきます。

燕市の紹介：ノーベル賞晩餐会で使用される食器は

燕市産です。信濃川と放水路が分岐する地域に立地します。町村合併の前の名前は分水町でした。米どころです。

大嘗宮：令和の代替わりのための仮宮です。本清水建設が元請で、

(株)社寺建(福井県)など3社が下請けで参加、社寺建から頼まれ参加しました。大嘗宮の特徴は、①黒木造り(皮付き松材)、②屋根を茅葺から板葺きに変更(工期短縮)、③掘立柱



沖野様



大嘗宮

に見せる(土台は隠す)です。神社建築の特徴である

屋根の飾り、「千木」「鯉木」が置かれています。令和の代替わりの宮の造営に参加でき光栄で、また、全国の経験豊富な宮大工と一緒に仕事ができ貴重な経験となりました。

新潟県小千谷市浄照寺修復工事：屋根の修復工事、瓦屋根から銅板への葺き替えです。

工夫した点は①屋根の解体を早く終了する、②小屋裏の状態を事前に計測し全てを工場加工とする、③箕甲部分(お寺の屋根の両側の独特の曲線部分で船底のような三次元曲線の形態)の型板を CAD で作成しました。



小千谷市浄照寺

新潟県長岡市観音堂(六角堂)の建替え：一辺 2.4m、高さ 7m。工夫した点は 3D でモデリングし、CAD データから型板をプリントアウトした。工場では組み立て、解体し、部材を現場に運び、再度組み立てました。



長岡市観音堂(六角堂)

北方文化博物館新潟市江南区の腰壁補修：北方文

化博物館は元々地元の名家伊藤家の住まいで 1880 年 5 代目が建てた建物。戦後博物館に転用されました。一部の建物の腰壁を杉皮で網代に編んだ珍しい壁です。弟が数寄屋大工でその経験が活かしました。下地板に防水紙を貼り、杉皮を編み仕上げました。

事前にいただいた質問への回答：①技術の伝承方法は、体で覚え、頭で覚え(規矩術)、経験で覚える、自分の立場は仕事の確保、若手が経験豊富な大工と仕事する機会を用意する、古い建物の解体修理に参加する。②大工の立場で図面の作成方法は、CAD で作成、一般的には、伝統的には実物大の床書き原寸大を作成、③有名な西岡棟梁について、直接は知らないが弟子の有名な小川三夫さんとは挨拶したことがあります。宮大工は釘を使わないと言われますが、実際は多くの金物を使います。④新潟県での社寺大工の需要について、新潟県の寺院 2750、神社 4753、神社の数は日本一。宗教離れで仕事は減少。茶室、一般民家の仕事もします。現在は CAD、3D でモデリングし、情報発信しています。



勉強会風景

地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

◎ 特定非営利活動法人(NPO 法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO 法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
 - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
 - ② ホームページ、メールによる情報提供
 - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

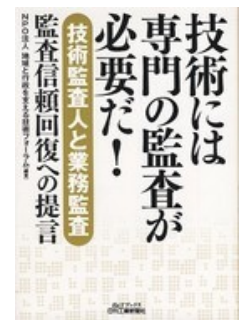
◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

◎ 十数年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。このため、他に類を見ない膨大な実績を有しております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



NPO 法人地域と行政を支える技術フォーラム 編著

◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「性能仕様書による発注業務の劇的な改善」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。この夏季号では、「社寺建築のビフォー・アフター」と云う演題で著名な宮大工の沖野寛幸様の講演を載せました。宮大工のお仕事は奈良時代からの伝統的な技術の継承をされているにも拘わらず、CAD, 3D等の現代の科学技術も取り入れ、日本の伝統文化を守り、進めている姿に感銘を覚えました。後に続く若い大工さん達にも経験のみでなく新しい技術手法での仕事の進め方に希望をもたらし、今後、日本の木造建築のさらなる進展と多くの宮大工さんが排出することを願っております。

ニュースレターのバックナンバーは、URL(<http://www.efasca.jp/forum.htm>)でご覧頂けます。

これからの講演内容についてのご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール info.efasca@efasca.jp

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美